恵那にドローン拠点

ROBOZと地域商社が協定

体験事業や農業活用、幅広く

恵那市、市観光協会出資の地域商社ジバスクラム恵那（恵那市）は、小型無人機ドローンのスクール運営を手掛けるROBOZ（ロボッツ、郡上市）と連携協定を結んだ。恵那市と連携し、市南部の過疎地、上矢作町にドローンショップや飛行場を開設、楽しさに触れられる事業を展開する考えだ。（三輪真大）

◇

ジバスクラム恵那は、ドローン関連企業の誘致も始める。ロボッツは、同町の道の駅ラ・フォーレ福寿の里でのドローンショップ、体験コーナーの開設、町グランドでのドローン飛行場の開設、運営を今後行う。公的機関対象のドローン講習、市のPRコンテンツの作成も検討する。協定を機に、恵那市は農業分野のドローン活用に向けた実証実験、小中学校でのプログラミング教育を今後進める。

協定書を交わす石田宏樹社長（中央）、阿部伸一郎理事長（右）ら＝恵那市役所

ジバスクラム恵那の阿部伸一郎理事長は「1月に発足したジバスクラム恵那の最初の成果。今後も市の活性化に取り組みたい」と喜び、恵那市生まれというロボッツの石田宏樹社長は「ドローンの楽しさ、良さに触れてもらえるような事業を展開していきたい」と力を込めた。

ジバスクラム恵那は観光業の育成、もうかる農林業への転換、ビジネス支援を柱に発足し、恵那市の地域資源と都市部のマーケットを結び付ける事業を展開している。ロボッツは2009年の設立。ドローン専用飛行場、ドローンパイロット養成スクールの運営、空撮業務などを手掛けている。

無断複製・転載を禁じます